

おちか



こうみんかん

だより

平成28年
3月14日
第113号

今月は高校に始まり、中学校、小学校と卒業シーズンになります。別れは辛いものですが次のステージへの1歩となります。新しい出会いに夢と希望を持って進んでください。

熟年大学 遺産相続について学ぶ

2月8日(月)離島開発総合センター娯楽室において、熟年大学講座が開催されました。今回は現場のプロに学ぶ②「高齢者の遺産相続のあれこれ」と題して宮川司法書士事務所の宮川正之さんにお話をいただきました。

テレビではよく耳にすることのある「遺産相続」。しかしながらその内容についてはよく知らないという方が多くいました。今回は司法書士の宮川先生に、遺産相続の内容について詳しく、かつ誰にでもわかるように説明していただきました。参加した熟年大学生の方々からも「大変わかりやすく説明していただいたので来てよかった。」との声も頂きました。

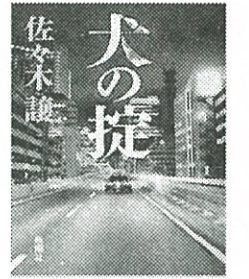
～講座の様子～



図書館から新刊図書の紹介

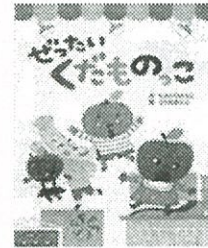
【一般書】

- ◆心が折れそうな人のための言葉の処方箋 [竹内 好美]
- ◆最新地図で読む世界情勢 ～これだけは知っておきたい世界のこ～ [上念 司]
- ◆いまからスタート マイナンバー制度がだれでもわかるQ&A・チェックリスト [渡邊 雅之]
- ◆地方は消滅しない! [梶田 隆章]
- ◆ニュートリノで探る宇宙と素粒子 [橋口 学]
- ◆番組スタッフが選んだ簡単スピードおかず ～3分クッキング永久保存版シリーズ～ [ヨゼフ・ドミヤン]
- ◆季節のフラワーリース基礎レッスン [浅田 次郎]
- ◆白い鹿 ～White Deer～ [佐々木 謙]
- ◆わが心のジェニファー [辻村 深月]
- ◆犬の掟 [葉室 麟]
- ◆きのうの影踏み [藤原緋沙子]
- ◆草雲雀 [松岡 佳祐]
- ◆番神の梅 [山崎ナオコラ]
- ◆水鏡推理 [五木 寛之]
- ◆ネンリズム/開かれた食器棚
- ◆嫌老社会を超えて



【児童書】

- ★降矢木すびかと魔の洋館事件 [声辺 拓]
- ★ぜったいくだものこ [たかどの ほうこ]
- ★失われたものたちの本 [ジョン・コナリー]
- ★ここで土になる [大西 暢夫]
- ★さなかだつて ねむるんです [伊藤 勝敏]
- [絵本]
- ★オニのサラリーマン
- ★くじらさんの一 たーめなら えんやこーら
- ★ケーキ やけました
- ★(絵本)はなちゃんのみそ汁
- ★ふまんが あります



おはなし会
100回目!!

2月6日(土)に、100回目の 記念『おはなし会』を開催しました！
平成11年6月27日(日)に、初めての『おはなし会』を開催してから17年目を迎えます。今回は、記念『おはなし会』ということで、内容も第1回目と同じにして開催しました。読み聞かせボランティアグループ「たんぽぽ」さんの協力により、続けることができた『おはなし会』。これからも、子ども達に本の楽しさを伝えるため、『おはなし会』を開催していきたいと思ひます。

遊遊句抄

兼題 頬被(ほおかむり)・焼蕎(やきいも)・年越
初明り・屠蘇(とそ)・初句会

頬被島吹く風も何のその 風呂かまど今日もほつこり諸焼けり うすら雲頂き野崎初明り 老いたるも病みも集へり初句会	夫の部屋つるしたままの頬被 年越や老先語る姉妹たち 船笛の島へ抜けゆく初明り 独り居の遺影の母と屠蘇を酌む	肥やし担桶ドンザ縄帯ほつかむり 年越して十年日記買う気合 たいらけく不毛頭にも初明り 初句会よろしよろしの和顔の輪	ほおかむり見て泣く幼見て笑ふ 年越は歩み来し日を物語る 新天地移動の朝の屠蘇うまし ベルト締め心もキリツと初句会	行く道の区切りやドツカと年を越す 年越や何を残して何を断つ 屠蘇飲んで五臓六腑やめでたけれ 吾が余命少し積み増す屠蘇の酔	刺さる矢の幾つか抜けず年越しぬ 年越や晩鐘淋し我が古稀 屠蘇酌むや五十連風上る浜 翁つあんと刀自の楽しき初句会	安納も金時もあり芋を焼く 年越や計あれこれの床の中 こぞの傷癒へて眺むる初明り 精進の決意を胸に初句会	焼イモを上手に焦がす母の業 リウマチの治療半ばの年を越す 初明りあらゆる神に祈りけり 句友みな白髪が増へし初句会	紫紅	一穂	月歩	値賀助	静帆	虫砂男	香松	松月
--	--	--	---	---	--	--	---	----	----	----	-----	----	-----	----	----

講座の様子



婦人学級 ハーブの効果でリフレッシュ♪

2月21日(日)夜7時から、若者交流センターにおいて、婦人学級が開催されました。今回は、毎年お世話になっている佐世保市の八谷廣子先生を講師としてお迎えし、「心も体もリフレッシュ♪ハーブ活用講座」を実施しました。今回の講座ではローズラベンダーポプリづくりを実施。ローズマリーやラベンダーなど様々な材料を混ぜ合わせ作成。会場内ではハーブの良い香りが漂っていました。また講座の後半ではサシェ(匂い袋)も作りしました。ハーブの効果だけでなく、参加者同士での歓談で皆さんリフレッシュしていたようです。

『第33回 少年の主張発表大会』発表原稿紹介

11月7日(土)に開催された「第33回少年の主張発表大会」。おちか新聞の最優秀受賞作品紹介に合わせて、公民館だよりでも優秀・入選作品を紹介しています。今回紹介するのは、中学生の部の作品です。子どもたちの主張に是非、耳を傾けてください。

中学生の部 入選作品 題：「人と動物との関わり」

小値賀中学校2年 門脇 梢平(かどわき しょうへい)

僕は子猫を一匹飼っています。名前は「しくろ」。それは弟が決めた名前、で、「しく」と呼んだりもしています。ときどきかんだりするけれど、のんびりとい生活をしています。ぼくは「しくろ」という時間が一番楽しいです。

だが今テレビや新聞などでは、飼っているペットを捨てたり、処分したりという暗いニュースをよく聞くことがあります。テレビなどで見ると、その理由としては生まれる子どもが多すぎる、人間になつかないなどの、人間の勝手な都合で捨てられています。でも、捨てられただけではなく、殺処分などの残酷なこともしています。そのせいでしょぶんされそうになった動物たちは、人になつこうとせず逃げている。そんなことがあっているのに人間は今も動物たちを自分の都合で捨てたり、殺したりしています。

人にも動物にも全てにあるものが命、命はどの生き物も共通している。その大切な命をなくし、消しているのは人間です。

今はよく、人権を守ろう、人と人のかかわりを大切にしようと言っていますが人間の命が生きる権利だけを大切すればいいわけではないと僕は思います。人も動物も〃生き物で、平等のはずです。だから人間は動物の命を粗末にはしてはいけません。

そんな動物たちが保健所などに保護させられるようになったが、ただ保護されればよいとは思いません。捨てられた動物たちには飼ってくれるひとがどこかにいるはず。もっといろんな所に飼ってほしい、とポスターなどで広告をすれば見つかるはず。なのに人は今も動物を殺したり捨てたりしています。

僕は考えた結果二つの提案があります。一つは動物を殺処分させないよう捨てるのではなく預けまた別の飼育者探す施設を作ることです。これを実現すればいろいろな動物を守ることができるようになります。死んだり捨てられる数が減ると思います。二つは捨てる気持ちをなくさせるポスターを募集しそれらをいろいろな所にはる。そうすれば捨てる気持ちを持つ人を少なくすることができます。僕はこの二つができれば人と物のかかわりが増え殺したり捨てたりするのは多く減ると思います。もしも実現できたら日本だけでなく世界に広がり動物の問題がへることなくとも思います。そのためにはまず僕たち人間が少しずつ問題を改善していく必要があると思います。

人は今もなお殺したり捨てたりしている世の中、二つの事を考えました。一つは人も物も〃生き物であって命があってこの世界と一緒に生きている。二つは人権だけでなく動物との人権を作っていく。二つの事を僕だけでなくいろいろな人が基準としていけるようにしてほしいと思います。

僕は将来人と動物が楽しく接することができる人が動物を殺したり捨てたりしない、平和で平等な生活を作ることができる世界が作れたらと思っています。なので誰は人を助けるだけでなく動物もいっしょにたすけるようにしたいです。なのでボランティアなどに参加していきたいです。

人が生きて、動物だけが殺されたり捨てられたりする今の世界は良くないと思います。僕が言っても変わらないかもしれない。でも変わるためには言わなければいけません。僕はそう思います。

人の命を守るのは人、動物の命を守るのは人。だからこそ人は動くべきだと思います。人が動物を守るためには動かなければ助けることができないと思います。人は人の命だけでなく、人は動物の命を救うことができます。だから、僕たち人間がこの問題を解決できるように、がんばったらいいと思います。

僕は、もう動物の死んでしまうニュースなど見たくないです。なのでそのようなことがないように、人が動いてそして守れるようにし動物を殺すことがない平和な世界を作れることを望みます。



中学生の部 優秀作品 題：「いのちについて思う事」

小値賀中学校1年 升水 汐里(ますみず しおり)



みなさんの宝物は、なんですか？私の宝物は、家族と友達です。理由は、私一人じゃなにもできないからです。家族は、私達支えてくれたり、悩みがあったら相談にのってくれたり家にいると、とてもなごやかになります。

友達は、学校の行事など、こまったときに助けてくれたり、協力してくれたりします。

部活で佐世保に試合に行つて試合をして自分のミスで相手の得点になったとき、必ずこの言葉を言われます。

「ドンマイ!!」

私は、この言葉にたくさん救われます。そして、私のペアが失敗しても、私は笑顔で、

「ドンマイ!!」

と言います。そして、その大会では、三位になりとてもうれしかったです。こういうときに、友達っていいなあと思います。助け合つて、協力して、よりいっそう絆が深まりました。

今は、ニュースなど、新聞をみると、いじめや、自殺が多くなっています。朝ニュースをみている時に、自殺という文字がでると、私は、またか〜と、思うときがあります。でも、よく考えると、なぜ自殺なんてするんだろう？とか、なぜ、周りの人は助けなかったんだろうなど、思うことがあります。

周りの人は、助けなかったんじゃないかと、助けたくなかったんだと思います。なぜかという、その子を助けると、助けた子が、次にいじめをされるからです。私は、そういうマンガや本を読んだことがあります。

私は、いじめにあったことがないけれど、その本を読むと、いろいろなことを思います。

いじめにあっている人たちは、お父さんやお母さん、先生方にいえず、自殺した人もたくさんいます。私は、いじめをされている人の気持ちはわからないけれど、それだけいじめを、されているとくるしいことがわかりました。

小値賀の学校以外では、いじめで不登校になつたりしている人がたくさんいると思います。その人たちは、いじめにあつたり、いろいろなことがあつたから、不登校になつているんだと思います。

私達には、夢や希望があります。自殺をすると、夢や希望は、失われます。だから、私は、簡単に、死にたくはないです。

私たちの学年は、友達と協力したり、行事があるときには、一緒に考えたり、一緒に悩んだり、そういうのが友達だと思います。

私たちの周りには、支えてくれる人たちがたくさんいます。地域の人々、家族、友達など、たくさんの人たちに感謝して生きていかななくては、なりません。だから、簡単に死ぬなんてしたくはありません。

最近では、いじめのニュースが多いです。もっと、一つの命を大切にしたい方だと思います。

このままでは数年後には、いじめのニュースがもっと増えていると思います。いじめをなくすには、私達この周りの人々をもっと大切にしていきたいです。地域の人々や、家族、先生方、友達などたくさんの人々に支えられているので、感謝して生きていきたいです。

命はとても大切です。私は、次の誌がとても素敵だなあとと思います。

「いのち」

小梅英二

花です

虫です

からだです

鳥です

こころです

それらはみんないのちです

いのちは

どれも

ひとつです

私は、この詩が好きです。花も、虫も、鳥も、草も、生きているということなので、人間以外の命も大切にしなければなりません。

人間の命、花の命、虫の命、鳥の命、草の命も大切に、生きていきたいです。